

## Introduction

刺激的なタイトルからは想像も出来ない物語の美しさと展開に、若い女性層を中心に“泣ける小説”として口コミが広がり、2016年本屋大賞第2位、Yahoo!検索大賞2016小説部門賞受賞など、瞬く間にベストセラー小説となった「君の臍臓をたべたい」がこの夏、遂に実写映画化します。重い臍臓の病を患うヒロイン・山内桜良に浜辺美波。桜良の病気を唯一知ることになるクラスメイトの【僕】には北村匠海。これから活動に目が離せないフレッシュな2人が、優しく美しい高校時代を瑞々しく演じます。さらに映画では、原作には無い12年後の『現在』が描かれ、『過去』と『現在』の2つの時間軸が交錯しながら物語が進んでいきます。そんな『現在』パートで教師となった【僕】に小栗旬、桜良の親友【恭子】を北川景子が演じ、物語を大きく振り動かします。主題歌はMr.Childrenの新作「himawari」。心を揺さぶる情感溢れるメロディが感動のラストを彩ります。

誰もが想像出来ない結末と、タイトルに隠された本当の意味を知った時、  
あなたはきっと涙します――。



### 原作：住野よる『君の臍臓をたべたい』

(双葉社刊)



読後、きっとこのタイトルに涙する——  
センセーショナルなタイトルで、話題となっている「君の臍臓をたべたい」。

小説投稿サイトに掲載されていた作品を担当編集者が発見したことから、書籍化が決定。

作家・住野よるのデビュー作となる。作中で描かれるのは、“恋愛”とも“友情”とも言いたくない、二人の高校生の“関係性”。発売後、10代を中心としたヒロインの桜良と主人公の【僕】に共感する声が続々と届き、想像もつかない物語のストラ

ーに涙する声も多く寄せられた。その感動の波は、

ティーンのみならず、その親世代にまで広がり、現在では、小学生～大人まで世代を超えて支持される作品となった。原作のなかでは、主人公の名前をラストまで明かさないという仕掛けが施されており、桜良と【僕】の関係性の変化を“呼び方”で表現している。【秘密を知ってるクラスメイト】くん、【仲良し】くんなど、独特の表現に新鮮な感覚を覚えた読者も多い。さらに、

一見おどろおどろしいタイトルにこめられた本当の意味を知り、そのギャップに涙する人が続出。友人や恋人などカテゴリーに分けられない桜良と【僕】の関係性を、純粋でまっすぐな空気感で表現した本作は、爽やかな青春物語として、発売から1年半以上経った現在でも人気を博している。

### YORU SUMINO

高校時代より執筆活動を開始。2014年、小説投稿サイト「小説家になろう」に投稿した本作が話題となり、翌年出版。数多くの賞を受賞する。その他の作品に「また、同じ夢を見ていた」「よるのばけもの」などがある。

### 主題歌：「himawari」 Mr.Children (TOY'S FACTORY)

この物語の中にある苦しい程の美しさ、強さ、優しさ、残酷さそれらを包み込みながらも、更に拡張性を持って押し出していかれる、そんな音を探して探して、やっとのこと辿り着いた曲は、自分の想像を超えて、また新しい力を与えてくれるものでした。この映画に、物語に感謝です。

桜井和寿 (Mr.Children)



## Characters



## Story

高校時代のクラスメイト・山内桜良(浜辺美波)の言葉をきっかけに母校の教師となった【僕】(小栗旬)。

彼は、教え子と話すうちに、彼女と過ごした数ヶ月を思い出していく――。

臍臓の病を患う彼女が書いていた「共病文庫」(=闘病日記)を偶然見つけたことから、

【僕】(北村匠海)と桜良は次第に一緒に過ごすことに。

だが、眩いまでに懸命に生きる彼女の日々はやがて、終わりを告げる。

桜良の死から12年。

結婚を目前に控えた彼女の親友・恭子(北川景子)もまた、【僕】と同様に、桜良と過ごした日々を思い出していた――。

そして、ある事をきっかけに、桜良が12年の時を超えて伝えたかった本当の想いを知る2人――。

[上映時間: 1時間55分 / シネマスコープ]



7月28日(金) 全国ロードショー

kimisui.jp

#キミスイ



# 君の臍臓をたべたい

「たべていいよ」  
とまどう僕に  
あの日の君が微笑む

滋賀  
ロケ地MAP  
映画公開記念

7.28 (金)  
全国ロードショー

浜辺美波 北村匠海  
大友花恋 矢本悠馬 桜田通 森下大地／上地雄輔  
北川景子／小栗旬

原作：住野よる『君の臍臓をたべたい』(双葉社刊)  
主題歌：Mr.Children「himawari」(TOY'S FACTORY)

製作：日向南 井河健作・村井祐介・川保健久・弓木義法・山本和哉・高橋誠・吉川作・斎藤浩樹・鈴木洋輔・林成・清水義典

企画プロデューサー：アーティスティック・エグゼクティブ・プロデューサー：伊藤ゴロー  
脚本：桂由美子・五瀬千一・高橋洋司・原田知世・加藤和也・福井良輔・吉川和也・佐藤洋輔・中澤和也・青木和也・青木和也・青木和也・青木和也

監督：月川翔 監修：月川翔 脚本：吉田智子 音楽：松谷草／追加編曲：伊藤ゴロー  
撮影：桂由美子・五瀬千一・高橋洋司・原田知世・加藤和也・福井良輔・吉川和也・佐藤洋輔・中澤和也・青木和也・青木和也・青木和也

編集：高橋洋輔・吉川和也・佐藤洋輔・中澤和也・青木和也・青木和也・青木和也・青木和也

音響：佐藤洋輔・吉川和也・佐藤洋輔・中澤和也・青木和也・青木和也・青木和也・青木和也

美術：高橋洋輔・吉川和也・佐藤洋輔・中澤和也・青木和也・青木和也・青木和也・青木和也

衣装：高橋洋輔・吉川和也・佐藤洋輔・中澤和也・青木和也・青木和也・青木和也・青木和也

撮影監督：高橋洋輔・吉川和也・佐藤洋輔・中澤和也・青木和也・青木和也・青木和也・青木和也

照明：高橋洋輔・吉川和也・佐藤洋輔・中澤和也・青木和也・青木和也・青木和也・青木和也

音響効果：高橋洋輔・吉川和也・佐藤洋輔・中澤和也・青木和也・青木和也・青木和也・青木和也

撮影協力：高橋洋輔・吉川和也・佐藤洋輔・中澤和也・青木和也・青木和也・青木和也・青木和也

音響効果協力：高橋洋輔・吉川和也・佐藤洋輔・中澤和也・青木和也・青木和也・青木和也・青木和也

音響効果：高橋洋輔・吉川和也・佐藤洋輔・中澤和也・青木和也・青木和也・青木和也・青木和也



## 「君の隣 脳をたべたい」滋賀ロケ地マップ

多くのシーンが滋賀県で撮影された映画「君の隣 脳をたべたい」印象的なロケ地を撮影エピソードとともにご紹介。ロケ地を巡って映画の風景に逢いにいきましょう。



⑤フラワーズギフト 花正



彦根市にあるフラワーギフトショップ。恭子が働く花屋のシーンを撮影。花屋のシーン以外でも本作に登場する花や観葉植物は、こちらのお店から提供いただきました。

⑥中藪橋



恭子が旅先の桜良と電話をするシーンを撮影。地元のみなさんに協力いただき、橋の上で撮影を行いました。※本紙の表紙にも使われているメインカットの橋ではあります。

⑦ポン・ダムール



彦根城のお堀沿いにある、フランス菓子が楽しめるカフェ。恭子が花を配達し、【僕】を見かけるシーンを撮影。桜良の家に飾ってある家族写真のスチール撮影も行われました。

⑧庄堺公園



バラ園、花しょうぶ園などがあり、季節ごとの花が楽しめる公園。桜良の赤ちゃん時の写真のスチール撮影が行われ、多くの応募いただいた中から桜良に一番似た赤ちゃんにエキストラとして参加いただきました。

⑨ローザンベリー多和田



「五感で感じる自然の癒し」をテーマとしたイングリッシュガーデン。自然に囲まれた場所で、ガーデン散策や季節の収穫体験など様々な自然体験ができます。身体に嬉しいハイキンググレストランや、庭を眺めてゆったりくつろげるカフェ、体験型のパークエキューも楽しめます。本作では、桜良と恭子の仲良し2ショット写真のスチール撮影が行われました。

⑩大津パルコ前交差点



【僕】が街頭ビジョンのニュースで衝撃の事実を知るシーンを撮影。100名を超えるエキストラに参加いただき、大津の街中での撮影でした。

⑪多賀大社



延命長寿や縁結びの神さまとして古くから全國的な信仰を集める古社で近年ではパワースポットとしても注目されています。「お多賀さん」の愛称で親しまれ、駅前の大鳥居から神社までの参道の両わきにみやげ店などが並びます。本作では、桜良の家に飾ってある家族写真のスチール撮影が行われました。

⑫近江鉄道八日市駅前



「ガチャコン電車」の愛称で親しまれる滋賀のローカル私鉄、近江鉄道の主要駅。【僕】と桜良の初デートの待ち合わせするシーンを撮影。

## —【僕】と桜良たちが通う学校—

豊郷小学校旧校舎群、滋賀大学、彦根西高等学校、彦根西中学校の4つの学校で撮影されました。学校のシーンでは、クラスメイト役など多くのエキストラに参加いただきました。

①豊郷小学校旧校舎群



昭和12年に、建築家ヴォーリズが設計した旧豊郷小学校は、当時の面影が色濃く残す校舎を自由に見学することができます。教室や図書館内のシーンを撮影。



②滋賀大学経済学部講堂



図書館の外観として、図書館に出入りするシーンを撮影。周辺の看板を隠すため、植物を設置していたので、毎日の水やりが大変でした。

③彦根西高等学校(旧校舎)



体育館、昇降口のシーンを撮影。職員室のシーンでは同校の本当にエキストラとして参加してもらいました。

④彦根市立西中学校



職員室や通学路のシーンを撮影。職員室のシーンでは同校の本当にエキストラとして参加してもらいました。

### 図書館について

本作におけるシンボリックな場所である図書館が撮影されたのは旧豊郷小学校の酬徳記念館。多くのボランティアの協力により大量の本が運び込まれ、本作のための図書館が完成しました。2万冊にものぼる本をシーンに合わせてセッティングするのは大変な作業で、監督も含めたスタッフ全員で行いました。

